

九州大学経営協議会議事録

日 時： 平成19年3月22日（木）
13:00～15:11

場 所： 九州大学 事務局第一会議室

出席者： （略）

【百周年記念事業推進会設立発起人会・総会について】

柴田理事から、2月28日に開催した百周年記念事業推進会設立発起人会・総会について報告があり、出席いただいた経営協議会委員に対して謝辞があった。

【机上配付資料について】

机上配付している「三位一体の改革」に関するパンフレットについて、大淵企画部長から紹介があった。

【前回議事録等の確認】

梶山総長から、前回1月25日に開催した平成18年度第3回本会議の議事録については、事前に配付の上確認頂いている旨報告があった。

【報 告】

1 経営協議会委員からの提言を踏まえた改革の取組について

塩田総務課長から、前回本会議において報告した6月及び9月の「提言と対応」の進捗状況、及び前回提案のあったことに対する本学の取組み状況について報告があった。

また、有川理事から、六本松地区が伊都地区へ直接移転することのメリットについて、補足説明があった。

2 財務運営上の課題について

柴田理事から、平成25年度までの伊都キャンパス移転事業や病院再開発事業に係る必要経費と財源額の確保等の概要について報告があり、詳細について、佐藤財務企画課長から説明があった。

なお、各委員から以下のような意見等があった。

- ・人件費からの捻出はどのように行うのか。
- ・人員凍結によるほか、それ以外の方法により努力しながら、人員を削減し捻出している。
- ・積極的に人件費を減らすことができるような仕組みがあるとよい。
- ・それが三位一体の改革のねらいのひとつである。
- ・外部資金等の活用は考えられないか。

- ・外部資金等は用途が決まっており、人件費に使うというのはなかなか難しい。
- ・事務組織については、例えば地区に1つなど、統合することはできないのか。
- ・統合を行った地区もあるが、統合したことによりデメリットも発生している状況である。

3 QUEST - MAPの取組みについて

渡辺理事から、本学におけるQUEST - MAPの取組みの概要について報告があり、詳細について、松田麻生塾法人本部ディレクターから説明があった。

なお、各委員から以下のような意見等があった。

- ・はじめは「やらされ感」があっても、始めてみるのが大事である。
- ・QUEST - MAPを作成する過程における意識改革が重要である。
- ・目標や計画の達成のために、QUEST - MAPを作成することで、情報の共有化ができる点に大変意義がある。
- ・大学の目標や計画というものは、民間企業のようにすべてが数値化できないという点で難しい。

【議 題】

1 平成18年度計画の変更について

村上理事から、伊都キャンパスの基幹・環境整備、及び台風により被災した施設・設備の復旧整備等を実施するにあたり、平成18年度の予算配分予定額に変更が生じたことに伴う、平成18年度計画の変更について説明があり、審議の結果、委員から特に意見等はなく、これを了承した。

2 平成19年度計画について

村上理事から、平成19年度計画の概要について説明があり、次いで、芹ヶ野企画部次長及び佐藤財務企画課長から詳細について説明があり、審議の結果、これを了承した。

また、梶山総長から、今後、年度計画の趣旨に影響を及ぼさない範囲での変更については、総長に一任願いたい旨の発言があった。

なお、各委員から以下のような意見等があった。

- ・文系地区の老朽化が進んでいるが、移転が完了するまで今後10年程度使用する予定であるため、トイレ設備等を改善し、またその数を増やすなど、学生が過ごしやすい環境に整備すべき。
- ・大学として必要最低限の対策はしっかりやっていきたい。
- ・いわゆる「骨太」の人材が、ぜひ九州から出てきてほしい。
- ・グローバルCOEについて、今回九大からは何件あったのか。
- ・9件である。
- ・部局改革について、部局の執行体制を強化しようということは考え

ているのか。

- ・部局の将来構想を実現するために、本部でサポートする体制を平成19年4月から開始し、また、部局長のリーダーシップを担いやすくするために、「三位一体の改革」と総称している改革を行った。

3 平成19年度の給与の支給基準の検討について

上田総務部次長から、平成19年度の給与の支給基準の検討について、前回本会議で審議いただいたとおりの改定案で実施することについて説明があり、審議の結果、これを了承した。

(以 上)